History of SEIREI

聖霊中学校・高等学校のあゆみ

1949年 —— 名古屋城に隣接する名古屋市
中区三の丸に中学校を創設

1952年 —— 高等学校を開設

1964年 —— 新校舎竣工

1970年 —— 瀬戸市の現在の場所に移転

1981年 —— 本校所在地「山口町」から「せいれい町」に町名変更

1982年 ——『EVE, My 青春!』開始

1984年 —— オーストラリア海外研修開始

1985年 —— 学園バス運行開始
中学3年生卒業論文開始

1987年 —— オーストラリアのサンクタ・ソフィア・カレッジ校と姉妹校提携

1993年 —— 中学5クラス、高校6クラス体制が確立

1995年 —— 名古屋聖霊学園と南山学園が法人合併

1996年 —— オーストラリアのマウント・セント・ジョセフ・ガールズカレッジ
との相互交流開始

1997年 —— スクールカウンセラー（臨床診療士）相談開始

1998年 —— 全校舎エアコン整備

1999年 —— 創立50周年記念式典
記念事業メディアコミュニケーションセンター完成

2005年 —— 中学定員を一学年200名、
高校定員を一学年240名へ変更
耐震補強工事

2006年 —— オーストラリアのマウント・セント・ジョセフ校と姉妹校提携

2007年 —— 南山学園創立75周年記念式典
記念コンサート

2016年 —— 聖園学院と南山学園が法人合併

2020年 —— 新校舎へ移転

2024年 —— 創立75周年記念行事



日本宣教に派遣された聖霊会のシスターたち
（前列中央が初代学園長Sr.ピア）



1959年 初代学校長Sr.マルチンヒルデのドイツ語の授業風景



1970年 瀬戸市の現在の場所に移転



1983年 校舎外壁を煉瓦色に全面塗装



1995年 南山学園と法人合併

〒489-0863
愛知県瀬戸市せいれい町2番地
TEL 0561-21-3121　FAX 0561-82-2025
https://www.seto-seirei-js.ed.jp

SCHOOL GUIDE
2026

SEIREI

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

共に輝いて生きる。



学校法人　南山学園

聖霊中学校・聖霊高等学校

伝統がつながり、
未来へひろがる。

光の子として生活せよ。

あなたがたは、以前には暗闇でしたが、今は主に結ばれて、光となっています。
光の子として歩みなさい。――光から、あらゆる善意と正義と真実とが生じるのです。

（エフェソの信徒への手紙　5章8節〜9節）

名古屋の郊外、瀬戸の丘陵地に位置する聖霊中学校・高等学校は、生徒たちの知性と感性を豊かに育むのに適している美しい自然に囲まれたカトリック系ミッションスクールです。

今からおよそ470年前に、聖フランシスコ・ザビエルが日本の人々に伝えた神の愛「ごたいせつ」のことばこそ本校の教育精神の原点であり、南山学園の一員として、適切な学校規模を維持しながら、家庭的な雰囲気の中で生徒たち一人ひとりを大切に育てています。

本校は創立当初から、生徒たちに、家庭にあっても社会においてもまわりを照らす光であってほしいという願いから、聖書のみことば「光の子として生活せよ」を教育モットーに掲げ、いかに生きるべきかを常に考えさせながら全人教育に励んでいます。また、宗教教育・外国語教育・情操教育を教育の三本柱として大切にし、21世紀を生きる生徒たちにグローカルなものの見方と、人々と共に平和に生きるための力を育んでいます。

一生のうちで最も多感で心身ともに大きく成長を遂げる時期を、本校の豊かな環境と温かい人間関係の中で過ごすことで、一人ひとりの生徒たちは、これからの人生を歩んでいくための確かな道しるべを見つけることでしょう。



理事長
市瀬英昭



学校長
マイケル・リンストロム







GLOCAL

Global - Local

地域とつながる。世界にひろがる。

Global キリスト教を基盤としたグローバル社会へと飛翔し、活躍する女性を育成します。

Local 地域文化や地域の人々とつながり、ホスピタリティを養成します。

世界にはキリスト教信者が20億人を超えて存在しています。そのため、グローバル社会の基盤にキリスト教的な考え方が反映されていることは間違いありません。しかし、日本においてのその数は、総人口の1パーセントにも満たないのです。本校の生徒たちが、身近にあるキリスト教的な考え方を理解することは、グローバル社会を生きていく上での大切な礎となります。

キリスト教を理解する授業や宗教色豊かな行事をとおして、生徒たちはホスピタリティ精神を養成し、自然にボランティア活動を行うようになります。本校では、キリスト教的な考え方によるグローバルな視座と、本校を内包する地域社会と共に生きていこうとするローカルな視座とを併せもった「グローカルな視座」で、女性のライフステージを考える機会を設けています。





SEIREI Campus

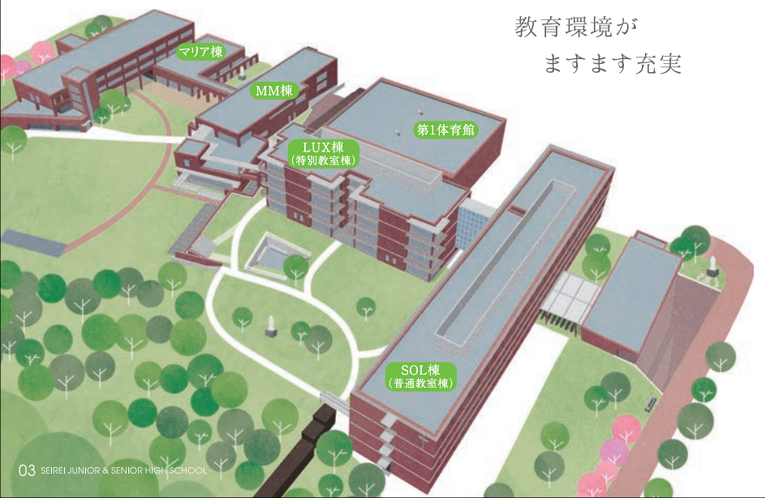

生徒玄関


普通教室


第1体育館


図書室

教育環境が ますます充実




被服室


理科室


宗教室


礼法室

宗教教育・外国語教育・情操教育を「教育の三本柱」として大切にしています。

教育の三本柱



心の原石をみがく
宗教教育

自分を知り、他を認める。そして仲間とともに生きる。キリストの心がすべての活動の原点です。自信をもって長い人生を歩んでいくための心を育みます。



広く世界とつながる
外国語教育

国境を越えて、差別や偏見を越えて、キリストの心をもって人と人とを結びつける。本校創立時より重視している外国語教育は、平和な世界を築く礎となります。



知性と感性をたかめる
情操教育

あらゆる感性を研ぎ澄ませて、歌い、奏でる。表現し、鑑賞する。他者とのハーモニーを重視する情操教育によって、人間本来の美しさを引き出します。

お祈り

本校での一日は「朝の祈り」で始まり「終業の祈り」で終わります。「朝の祈り」では今日一日、自分の義務をよく果たすことができるようにと、「終業の祈り」では一日を無事に終えたことを感謝し、良い明日を迎えることができるようにと祈ります。約30秒間の「静思」の時間は、自らを反省し、人を思いやる大切な時間になります。全校が静寂に包まれる中、生徒たちは自分の内面を見つめ、見えないものに思いを馳せます。

オーストラリア海外研修・ニュージーランド語学研修

オーストラリアのメルボルン郊外に位置するマウント・セント・ジョセフ・ガールズカレッジ(MSJ校)と2006年から姉妹校提携を結んでおり、夏休みに中３・高１の希望者がMSJ校を訪ねます。最大の特徴は相互訪問・相互交流という点で、本校もMSJ校からの留学生を受け入れます。また、同じく夏休みに高１・高２の希望者がニュージーランド語学研修に出かけます。ホームステイをしながら現地の語学学校に通い、英語力の向上をめざします。

EVE,My 青春!

毎年12月にクリスマスキャロルのコンサート『EVE, My 青春！』を催しています。中２と高１の全員、そして聖歌隊とオーケストラ部で創り上げています。合唱や演奏だけでなく、ペンライトによる演出やオーディションによって選考された生徒による司会進行、また同じく生徒によって描かれたイラスト入りの歌詞カードもこのコンサートに彩りを添えています。40年以上の歴史をもつ名古屋の冬の風物詩として、市民のみなさまにも楽しんでいただいています。



3つのポリシー

創立以来の教育理念・目標を達成するために、本校のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、グラデュエーション・ポリシーの3つのポリシーを掲げます。





アドミッション・ポリシー
（求める児童像）

教育理念・目標を実現するために、どのような児童を受け入れるかを定めた基本的な方針です。

カリキュラム・ポリシー
（めざす教育実践）

教育理念・目標やグラデュエーション・ポリシーを達成するために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実践するかを定めた基本的な方針です。

グラデュエーション・ポリシー
（めざす女性像）

教育理念・目標に基づいて、卒業時にどのような女性になっていてほしいかを定めた基本的な方針です。

卒業生からのメッセージ



聖霊での経験が、
今の私を支えています。

千葉大学大学院
融合理工学府基幹工学専攻
医工学コース　在籍

外村 帆乃花さん（2020年3月卒業）

聖霊での6年間は、私の人格や価値観を育んでくれた時間でした。人との関わりや、知らない世界に触れること、自分の弱さに向き合うこと――そのすべてが、今の私を支えています。

聖霊に入学し、初めて制服に袖を通した日、自分の可能性に心躍らせる一方で、これからどんな挑戦が待っているのか、不安だったことを今でも覚えています。そんな私を理解してくださった先生が、生徒会への立候補を勧めてくださいました。やがて生徒会長となり、多くの行事や会議の運営に携わりましたが、「皆の生活をもっと良くしたい」という共通の思いを胸に、仲間と試行錯誤を重ねた日々は、私にとってかけがえのない経験となりました。思いを一つにして何かを成し遂げることは難しく、だからこそ達成感が得られるのだということも学びました。

中学時代に挑戦したオーストラリア海外研修も大きな転機となりました。言葉や文化の違いに戸惑いながらも、異なる価値観に触れるおもしろさや奥深さを実感しました。そして「違い」を受け入れることは、自分の視野を広げ、新たな可能性を切り拓く力になるのだと気づきました。この気づきは私の軸となり、自分とは異なる誰かを尊重する姿勢へとつながっています。さらに、私の内面を支え続けたのがキリスト教の教えでした。「誰かのために行動すること」や「自分がどう生きるかを問い続けること」は、今でも私の選択や行動の指針となっています。

卒業後は、人々の健康を支えたいという思いから、医療工学を学ぶ大学に進学しました。現在は大学院に進学し、さまざまな背景をもつ方々に寄り添える医療機器の研究・開発に、企業と共同で取り組んでいます。聖霊での学びを糧に、これからも人々の支えとなれるよう尽力したいです。



思いやりの心と
寄り添う姿勢を育みました。

浜松医科大学
医学部看護学科　卒業
名古屋市内病院　一般内科・整形外科病棟　勤務
看護師

大澤 菜々恵さん（2017年3月卒業）

聖霊に高校から入学した当初は、中高一貫校ならではの雰囲気に馴染めるだろうかという不安がありましたが、自然に恵まれたキャンパス、そして自分らしさが大切にされる環境でのびのびと過ごすうちに、自分や仲間を大切にする心が育まれてゆきました。行事は生徒主体で進められ、クラス全員で協力しながら準備を重ねる中で、一体感や達成感を味わいました。共に悩み、笑い合い、挑戦し鼓舞し合った仲間との時間は、今でも心に残る大切な思い出です。

さらに、先生方や友人たちと関わる中で、人の思いに寄り添うこと、丁寧に人と接することを学びました。特に印象に残っているのは、集会のたびに、マイケル・リンストローム校長先生が“You are my angels.”と優しく語りかけてくださったことです。自分の存在そのものを受け止めてもらっているような安心感があり、今でもその言葉は私の心に温かく残っています。進路に関しても、先生方は生徒一人ひとりの目標に真摯に向き合い、全力で支えてくださいました。自分の意思を尊重し、最後まで寄り添ってくださった先生の存在に支えられたことに、心から感謝しています。

今、私は名古屋市内の病院で看護師として働いています。病気という側面だけでなく、患者さん一人ひとりの背景や個性を大切にし、その人らしさを尊重しながら向き合うことを心がけています。勉強と反省の日々ですが、聖霊で培った人の思いに寄り添う姿勢や丁寧に人と関わることを大切にしながら奮闘しています。通勤途中に制服姿の聖霊生やスクールバスを見かけるたびに、温かな記憶がよみがえり、聖霊で過ごした日々が私の誇りであると改めて感じています。みなさんにとっても、聖霊がそのような場所となるよう心から願っています。



まわりを明るく照らす
存在でありたいです。

南山大学
外国語学部英米学科　卒業
長久手市役所市長公室秘書課　勤務

與語 真利奈さん（2012年3月卒業）

聖霊での日々をふり返ると、何でもないことで友達と笑い合ったことや、生徒会活動に打ち込んでいた自分の姿が思い浮かんできます。まわりにいる人を喜ばせることが好きで、仲間の楽しい時間を増やしたいという一心で生徒会活動を始めました。もともとは人見知りだった私が、友達からの「向いているよ！」の一言に背中を押されて生徒会役員に手を挙げたことは、今でも驚きを隠せません。

生徒会長を務めていた高校2年生のときに、どうしてもやりたくて企画した文化祭開会式のフィナーレで、大きな失敗をしたことがあります。悔しさで泣いていた私に「あんな発想はこれまでになかったから、失敗も含めて今までで一番おもしろかったよ」と先生方やまわりの友達が励ましてくれました。計画どおりに進めることはもちろん大事ですが、挑戦することの大切さも身に染みて感じた経験となりました。

聖霊での学びは、今の仕事にも活かされています。特に公務員には「傾聴力」が求められます。地域のみなさまや地元企業の方と関わる中で、さまざまなご意見を伺うことがあります。真摯に向き合い、そのお考えに至った経緯やその方の背景までも追うことで、本当に伝えたいことがわかってきます。また、市役所内にいるだけでなく、実際に街に出て、現場の空気を体感するようにしています。近年はジブリパークができたことをきっかけに、長久手市や周辺の街にも立ち寄ってもらいたいと、職員有志で街の魅力を発信しています。

「光の子として生活せよ」というモットーは、今でも私を導くことばです。見えないところまで寄り添う気持ちをもつことで、人の心をあたたかくすると感じています。これからもチャレンジ精神を大切にしながら、まわりの人の笑顔を増やす存在でありたいです。









アドミッション・ポリシー

（本校が求める児童像）

本校は、美しい自然環境に恵まれた瀬戸市の丘陵地に立地し、三位一体の神の愛である「聖霊」によって結ばれた共同体として、その名をいただいたキリスト教のミッションスクールです。創立以来、『光の子として生活しなさい』をモットーとして掲げ、「一人ひとりが神から与えられた、かけがえのない存在である」という確信のもとに、すべての人々が、神に期待される人間として、自分と人とを大切にし、人々のために尽くしながら、人々と共に生きることのできる人へと成長し、社会と家庭における自己の使命と役割に目覚めるように力を尽くします。

聖霊中学校は、こうした創立以来の学校の理念、目標を実現する手段として、2016年度に、本校が求める児童像（アドミッション・ポリシー）を掲げ、小学校での充実した生活経験と本校入学後の成長の可能性をあわせもつ児童を積極的に受け入れます。

本校入学前の生活について

公立・私立小学校もしくは海外日本人学校などで義務教育の正課を修了する見込みで、仲間とともに年齢にふさわしい生活を送り、心身ともに健康であり、集団に寄与した児童。

01 在学する小学校の教育目標・校訓や所属する学級の目標を理解し、充実した学校生活を過ごすことができた児童。

02 児童会・委員会・係などの課外活動を積極的に行い、まわりの仲間や下級生との関わりのなかで、他から信頼を得ることのできた児童。

03 学校外の活動、地域の活動に継続して取り組み、その活動によって成長できた児童。

本校入学後の生活について

聖霊中学・高校での生活を具体的に思い描き、聖霊での6年間で仲間と協力しながら充実した学校生活をする意志のある児童。

01 本校がカトリックの女子ミッションスクールであることを理解し、自分自身もまわりの仲間も大切な存在であることを認め、キリストの教えにもとづいて行動できる児童。

02 仲間と共に学び励むことが自分を成長させることであると自覚し、学習を日々続けることのできる児童。

03 学習以外の諸活動においても熱心に取り組み、困難にも立ち向かいながら、充実した学校生活を送ることのできる児童。

VAP選考入試とは

本校が掲げるアドミッション・ポリシーに合致、もしくは今後、合致するであろうことが予見できる人物を対象とした入試制度です。

本校を第一志望としている人、本校に入学してぜひがんばりたいという強い意志のある人について、その適性を判断します。

Message



中学3年
ブリッジズ　百佳さん

VAP選考入試で入学しました

最高の仲間と共に充実した日々を過ごしています。

聖霊の卒業生であった母に勧められて、小学5年生のときに初めてオープンスクールに参加しました。自然に囲まれた美しいキャンパス、すれ違うたびに明るく挨拶をしてくれる先輩方、温かい笑顔で接してくださる先生方、その全てが私にとって驚きでした。

みんなで心をひとつにして演奏する姿に憧れて、私は和太鼓部に入部しました。初心者の私に先輩方は優しく丁寧に指導してくださり、今では部長として活動しています。これからも仲間と目標に向かって努力し、充実した日々を過ごしながら、私らしく成長していきたいです。



カリキュラム・ポリシー

（本校がめざす教育実践）

ミッションスクールであることと グローカル世界の構築のために

本校では、6年間の学習を通して、生徒が「意味」や「関係性」を感得できることを目標とします。「意味」とは、存在意義、生きている実感、自分が自分の人生の主人公という感覚、生きる喜び、人生や生活の目標、目的、夢などのことです。「関係性」とは、人と人との絆、今の自分と未来の自分のつながり、自分と社会とのつながりなどのことです。

すべての教育活動を通して生徒が「意味」や「関係性」を育むことをカリキュラムの根本として、本校のカリキュラム・ポリシーを掲げます。

01

知識の詰め込みではなく、生徒を導くスタイルを提示します。冷静に物事を考え、自分なりに知識を形成し、新たな知識を自らが発見していくという探究型の授業の場を設定します。

02

グローバルな視野に立って多様な文化を受容し、その価値観を肌で感じ受容することで、日本というローカルな視座に立ち返り、日本の文化を世界に発信していくような人材を養成します。

03

かつての正解主義にとどまることなく、近い将来必要となるであろう正解が一つではない問いに対して折り合いをつけていく力を、グループ学習を通じて養成します。

04

6年間の学びを通して、ただ自己の考えの主張にとどまることなく、自分自身の考えを導き出すプロセスを提示でき、グローバルイシュー（地球的規模での解決が必要な問題）に対して討論できる力を養成します。



聖霊中学校

自発的に学びたいという気持ちを喚起させるために、中学では一人ひとりに合った学習指導を重視しています。卒業生による学習支援(チューター制)もその取り組みの一つです。

また、総合的な学習の時間などでラボラトリー方式の体験学習やキャリア教育などを、南山大学人文学部心理人間学科の支援を受けながら推進しています。

3年生では約一年をかけて自分の問題意識を掘り下げる「卒業論文」に取り組み、探究型の学びを体験します。

中学1年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
1	国語	音楽	宗教	保健体育	国語
2	英語	技術家庭	数学	英語	数学
3	社会	技術家庭	英語	理科	社会
4	保健体育	理科	理科	数学	英語
5	音楽	保健体育	総合	国語	美術
6	数学	国語	HR	社会	美術

聖霊高等学校

高校では生徒個々の多様な能力や適性に応じた発展的な学習の段階へと進みます。特に数学や英語では1年生からグレード制を採り入れて指導します。

さらに2年生から多彩な選択科目を配置して、生徒一人ひとりの進路設計をサポートしています。文系・理数系の演習講座だけでなく、音楽・美術・家政学等の科目履修も可能です。選択科目の多くは少人数クラスとなり、大学入試対策を含めて、個別に手厚く指導しています。

高校3年生の時間割の例

	月	火	水	木	金
1	論理・表現Ⅲ	古典探究	選択B2群	総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ
2	倫理	選択B2群	体育	総合的な探究の時間	英語コミュニケーションⅢ
3	選択B2群	選択C群	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅲ	古典探究
4	論理国語	選択C群	英語コミュニケーションⅢ	選択B2群	選択B2群
5	選択A2群	体育	論理国語	選択D群	選択B2群
6	選択A2群	倫理	選択B2群	選択D群	HR

中学校教育課程 ▶▶▶ 高等学校教育課程

中学1年生

国語	4
社会	3
数学	4
理科	3
英語	4
音楽	2
美術	2
保健体育	3
技術家庭	2
宗教	1
学級活動	1
総合的な学習の時間	2

中学2年生

国語	4
社会	3
数学	4
理科	4
英語	5
音楽	1
美術	1
保健体育	3
技術家庭	2
宗教	1
学級活動	1
総合的な学習の時間	2

中学3年生

国語	4
社会	4
数学	4
理科	4
英語	5
音楽	1
美術	1
保健体育	3
技術家庭	1
宗教	1
学級活動	1
総合的な学習の時間	2

高校1年生

現代の国語	2
言語文化	2
歴史総合	2
公共	2
数学Ⅰ 3グレード	3
数学A	2
化学基礎	2
体育	2
保健	1
音楽Ⅰ	2
英語コミュニケーションⅠ	3
論理・表現Ⅰ 2グレード	2
家庭基礎	2
情報Ⅰ	2
宗教	1
ホームルーム	1

高校2年生

論理国語	2
古典探究	2
数学Ⅱ 3グレード	4
生物基礎	2
体育	2
保健	1
英語コミュニケーションⅡ 3グレード (英語選択)	4
論理・表現Ⅱ	2
宗教	1
選択 A1	2
選択 B1	7
ホームルーム	1
総合的な探究の時間	1

高校3年生

論理国語	2
古典探究	2
倫理	2
体育	3
英語コミュニケーションⅢ 3グレード (英語選択)	4
論理・表現Ⅲ	2
選択 A2	2
選択 B2	7
選択 C	2
選択 D	2
ホームルーム	1
総合的な探究の時間	2

高校2年生からの選択群

	高校2年生	高校3年生
選択A群 計4単位	文学国語	文学国語
	世界史探究	世界史探究
	数学B	数学C
	スポーツⅠ	スポーツⅡ
	音楽Ⅱ	音楽Ⅲ
	美術Ⅰ	美術Ⅱ
	時事英語	時事英語
	第2外国語Ⅰ	第2外国語Ⅱ
	家庭生活	家庭生活

	高校2年生			高校3年生		
選択B群 計14単位	日本史探究(4)	英会話(1)	地理総合(2)	日本史探究(3)	文学特講(2)	物理基礎(2)
	日本史探究(4)	英会話(1)	地理総合(2)	生物(5)		物理基礎(2)
	化学(5)		物理基礎(2)	生物(5)		地理総合(2)
	化学(5)		物理基礎(2)	物理(5)		地理総合(2)
選択C群 計2単位				国語演習、基礎国語、日本史演習、化学基礎演習 ソルフェージュ・声楽、書道Ⅰ、情報Ⅱ		
選択D群 計2単位				政治・経済、数学Ⅰ・A演習、生物基礎演習、 スポーツⅢ、ライティング、総合英語、保育		
選択CD群共通 計4単位				数学Ⅲ、数学B・C、デッサン専科		

◆ 習熟度別授業

1年 ── 数学Ⅰを3グレード
論理・表現Ⅰ(英語)を2グレード

2年 ── 数学Ⅱを3グレード
英語コミュニケーションⅡを3グレード

3年 ── 英語コミュニケーションⅢを3グレード



各教科のカリキュラム・ポリシー

国語　豊かさを追究できる人となれるよう支援します。



「読む力」・「書く力」・「発表する力」・「受け取る力」の四つの力を養成することを、国語科における学びの根本とします。

「読む力」について、説明的文章においては「論理を捉える力」を、文学的文章においては「主題へとアプローチする態度」を、それぞれ培います。「書く力」について、説明的文章においては「論理的に書く力」を、文学的文章においては「他者へと、思いを伝えようと工夫する態度」を、それぞれ培います。「発表する力」については、「自己の思いや考えを的確に相手に伝えようとする態度」を培います。「受け取る力」については、「他者の思いや考えを受け止めようとアプローチする態度」を培います。

各学年における言語の発達段階に留意しつつ、「意味」や「関係性」を感得して、人としての豊かさを追究できる社会人となれるよう支援し続けます。

英語　四技能を伸ばし、グローバルな視野を育成します。

英語の四技能をバランスよく伸ばし、英語で発信された情報や考えを理解する力、自分の意思を的確に伝える力を育成するとともに、言語や文化を深く理解し積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とグローバルな視野を育成します。

ティームティーチングやネイティブスピーカーによる1クラス2分割授業を設定し、中学では、ペアやグループでの言語活動を通して主体性や協同性を育み、英語学習の素地を養成します。さらに高校では、グレード別授業や選択授業を設定して、個々の習熟度に合わせた授業を展開し、総合的な英語力を向上させます。また、中高ともに、英語検定等の資格試験に挑戦する場を設定し、それに対応する力をつける取り組みを展開します。



数学　基礎力を養うと共に、数学的思考を高めます。

中学時に高校の学習内容の素地を養成すべく授業を展開し、基礎計算力を養うと共に、数学的思考を高める場を設定します。週末課題などを活用して学習習慣を確立し、自ら学習を進めるための姿勢と基礎学力を養成します。

高校時にはグレード別授業を展開し、個々の習熟度に合わせた授業を設定して、数学的論理思考を深めます。理数系大学を含む数学を必要とする上級学校において、将来活躍できる力を養成します。



社会　「知識・確信・思考力」を育成します。

「社会貢献への道を模索する女性」の育成の基礎となるべき「知識・確信・思考力」を、6年間を通して育成します。知識とは、自らを取り巻く社会に関するもの、確信とは、自らの社会参画によってより良く変容するということ、思考力とは、課題の発見と解決に向けた力です。



理科　自然科学に関する知識と科学的思考力を養います。

本校の緑豊かな環境・恵まれた立地条件を活かし、豊かな人間性と幅広い教養を醸成することをめざして、自然科学に関する広い知識と科学的思考力を養います。また、自然界の諸事象に対する疑問を大切にし、自然界のしくみ（原理）を正しく理解するための場を設定します。



音楽　本物のハーモニーを追究します。

歌うことに慣れ親しみ、本物のハーモニーを追究する場を設定します。また、日常的にチームワークの大切さ、感動する心を養成します。本校独自のカリキュラムとして「ヴァイオリン」に取り組む場を設定し、器楽合奏の楽しさを通して達成感や一体感を養成します。



美術　「意識して描く」をテーマとします。

6年間を通して、「意識して描く」をテーマとし、ある人・ある分野の感性や美しさだけに偏重することなく、表現の質的領域を深める態度を意識し、自ら探究する力を養成します。また、人間社会を形成する文化のひとつとしての役割、自然や社会事象への意識・関連性に気づけるような場を設定します。



各教科のカリキュラム・ポリシー

宗教

命の尊さを感得する力を養成します。

キリスト教の世界観と価値観を通して、物事の背景を読み取る能力（目に見えないものを見る力）を向上させ、自分のことばで表現する力を育成します。また、宗教行事を通して、感謝の心を育成し、実践力を養います。キリスト教的知識の習得から寛容の精神、命の重さと尊さを感得する力を養成します。



保健体育

社会的態度と集団行動の力を養成します。

合理的な運動の行い方や体力の高め方などの知識の重要性を認識させ、動きの獲得や技ができる喜びなど、各領域特有の特性や魅力を深く味わうと共に、公正・協力・責任・参画などの社会的態度を育成します。集団における自己の行動や規律を厳守する意識を養成します。



技術家庭

生活をよりよくする力と態度を養成します。

技術分野においては、実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な情報や産業等についての基礎的な理解と技術を養成します。家庭分野においては、衣食住などに関する実践的・体験的な学習を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識および技術を習得するとともに、将来をよりよくしようとする能力と態度を養成します。



情報

情報化社会に主体的に対応できる態度を育成します。

現在の社会生活において情報技術が果たしている役割を理解し、情報化の進展に主体的に対応できる態度を育成します。実習中心の授業を通じて、基本的な情報機器の操作を身につけ、課題や目的に適した情報機器や情報ネットワークなどを活用する方法を習得します。



聖霊生の一日
A day at Seirei





8:35 予鈴

8:40 朝の祈り 学級活動

8:50 第1限（50分授業）

9:50 第2限（50分授業）

10:50 第3限（50分授業）

11:50 第4限（50分授業）

12:40 お昼休み

13:20 第5限（50分授業）

14:20 第6限（50分授業）

15:10 終業の祈り 学級活動 / 清掃

15:30 部活 / 下校

18:10 最終下校

























Message



中学3年
三浦 そらさん

自然の中で成長できる学校です。

聖霊では、都会ではあまり感じることのない四季の変化を感じることができます。春にはウグイスの鳴き声が聞こえ、夏が近づくにつれて木々の緑が深くなります。秋には美しい紅葉が見られ、冬になると雪景色が広がることもあります。このような環境で、勉強や運動に励み、友情を育むことができることに、私は心地よさを感じています。

日々の活動では、私たちの「やりたい！」という気持ちを尊重してもらっていると感じています。先生方は私たちにいつも寄り添ってくださるので、安心しながら学校生活を送っています。

下校バス時刻

＊路線によって時間が少し異なります。

第1便 15:55
第2便 17:00（一部の路線は運行しません。）
第3便 18:10（11～3月 17:35）

年間行事
School events

年間を通して、四季折々のさまざまな行事があります。仲間とつながり、助け合いながら共に壁を乗り越え、絆を深めます。


















4 April
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 避難訓練
- 修養会（中1）

5 May
- 修養会（高1）
- 球技大会（中学）
- 聖霊降臨祭

6 June
- 林間学校（中2）
- スポーツ大会（高校）
- 校外学習（中1・中3）
- 土曜セミナー
- 学習相談会（中学）

7 July
- 聖マリア・ゴレッティ週間
- 芸術鑑賞
- 部合宿
- オーストラリア海外研修（中3・高1）
- ニュージーランド語学研修（高1・高2）

8 August
- 平和のつどい（中学）

9 September
- 文化祭

チャレンジ精神と協調性を育む
「林間学校」（中２）



６月に長野県上高地へ出かけます。大自然の中で仲間たちと山登りやハイキングを楽しみ寝食をともにする２泊３日は、かけがえのない体験となります。また、いつもそばで支えてくれている家族への感謝の気持ちを確認する３日間にもなります。

事前学習では上高地の自然や歴史、環境問題について学び、事後には体験をもとにして学んだことを文章等にまとめます。

社会への視野を広げ、仲間と共に創造する
「文化祭」





本校の文化祭は中高合同で開催されます。各クラスが文化祭に向けて６月から話し合いを重ね、助け合いながら制作に取り組みます。教室企画・ビッグアート・演劇・喫茶の各部門にわかれて発表しますが、採り上げるテーマは政治・経済・歴史・国際関係・環境・現代社会と多岐にわたります。文化祭での取り組みを通してクラスの絆はさらに深まります。

10 October
- 弁論大会（中学）
- 土曜セミナー
- 避難訓練
- 体育祭（中学）
- 陸上競技会（高校）
- 漢字コンクール（中学）

11 November
- 創立記念日
- 修学旅行（中3 広島方面）（高2 長崎方面）
- 校外学習（中1・中2）
- 学習相談会（中学）

12 December
- MSJ生来校
- クリスマス聖式
- EVE,My 青春！

1 January
- 英検校内受験
- 英単語コンクール

2 February
- 駅伝大会（中学）
- 英語暗唱大会（中学）
- 送別会（高校）
- ヴァイオリン発表会（中1）
- 土曜セミナー
- 漢字コンクール（中学）
- 静修の日（高３）

3 March
- 送別会（中学）
- 卒業式
- 学習合宿（高2）

戦争の悲惨さと平和の尊さを学ぶ
「修学旅行」
（中３ 広島方面）（高２ 長崎方面）




中３は広島方面へ、高２は長崎方面へ修学旅行に出かけます。広島では平和記念公園と資料館を訪れ、被爆体験者の方の講話を通して原爆の悲惨さ、平和の尊さを実感します。高校の修学旅行でも浦上天主堂で世界平和のための祈りを捧げます。

いずれも地域独自の文化や歴史に関する事前学習に取り組み、事後には旅行記やレポート等にまとめることで修学旅行での学びを深めます。

たすきで心がつながる
「駅伝大会」（中学）



聖霊の駅伝コースは並大抵のものではありません。苦しいけれどクラスのみんなのために頑張ろう、そんな気持ちで必死に走ります。走りきって、仲間と手をつないでゴールする瞬間は、疲れよりも感動の方が大きいことは言うまでもありません。最後に父母の会のみなさまがつくったぜんざいを食べて身体も心も温まります。

部活動・同好会
Club activities

好きなことに全力で打ち込み、仲間と苦楽を共にします。同じ部活動・同好会で助け合い、励まし合いながら過ごした友は、一生の宝物です。



Message

バレーボール部

信頼し合う心を大切にしています。



高校2年
梶田 輝梨さん

私たちは団結力と技術力の向上を目標に、練習に取り組んでいます。学年の垣根を越えて活動し、刺激し合いながら高みをめざしています。個々の技術も必要ですが、最も大切なのは互いに尊敬し、信頼関係を築くことです。バレーボールはいかにチームで団結できるかが大切です。そのため、日々の練習から思いやりの心をもち、部員全員でチームをつくり上げています。

笑顔と熱気にあふれる体育館で、かけがえのない仲間と共に行う練習は一生の思い出になるはずです。私たちと一緒に、コートで輝く瞬間を体験しませんか。

Message

演劇部

最高の舞台を一緒につくりませんか。



高校2年
丸山 ららさん

私たちは全国大会や合同発表会に向けて練習に励んでいます。照明や音響も自分たちで担当し、生徒同士で意見を出し合いながら舞台をつくっています。先輩と後輩の壁はなく、和気あいあいとした雰囲気です。

演劇の魅力はふだんとは異なる役を演じて、新しい自分に出会えることです。また、一つの目標に向かって努力し、舞台を成功させたときの達成感は格別です。一人でも欠けたら劇は成り立たないため、全員が責任をもって協力しています。演劇が好きな人、新しい自分を見つけたい人、私たちと最高の舞台をつくりませんか。































運動部 中学・高校

ソフトボール部
全国大会勝利をめざし日々奮闘！チームワークの良さが売りです。

ダンス部
振り付けから自分たちで考え、文化祭での発表を中心に活動しています。

バレーボール部
汗を流し頑張った分だけ、心の宝物が増えていくね。

ゴルフ部
中・高みんなで大会をめざし活動しています。心も身体も鍛えましょう。

テニス部
テニスを通じて心と技と体を鍛え、大会での活躍をめざしています。

少林寺拳法部
大会や昇級を目標に、中・高合同で練習します。礼儀を重視します。

バドミントン部
良き友、良き先輩、良きライバルと共に練習を重ねています。

卓球部
初心者でも、先輩が優しく教えます。

チアリーディング部
恵まれた練習環境で、大会やイベントに向けて頑張っています。

陸上部
中・高一緒に自己ベストをめざしながら走っています。

文化部 中学・高校

オーケストラ部
私たちと一緒に音と心のハーモニーを奏でませんか？

軽音楽部
バンド演奏で気分爽快！軽音楽部にぜひ入ってね。

聖歌隊
コンクール、慰問演奏、コンサート等、幅広い活動をしています。

放送部
学校行事や朗読アナウンスの大会に向けて練習しています。

和太鼓部
中・高みんなで太鼓に向かい、和の音色を響かせています。

美術部
デッサンをしたり、文化祭で展示する作品を制作したりします。

演劇部
演劇に興味があれば、ぜひ来てください。初心者大歓迎です。

DAC部
ボランティア！「できること」から共に未来をつくりましょう。

英語スピーチ部
英語のゲームやイベントで楽しく活動しながら英語とふれ合いましょう。

アニメーション部
和気あいあいとした雰囲気で活動しています。

茶道部
デジタルな世の中、和の空間で癒されてみては？

手芸部
みんなで手芸作品をつくっています。一緒に楽しみましょう。

箏曲部
月・水・金の週3日、中・高一緒に楽しく活動しています。

同好会 中学・高校

ラクロス　手　芸
文　藝　宗　教
軽音楽

（2025年度現在）

グラデュエーション・ポリシー
（本校がめざす女性像）

本校のグラデュエーション・ポリシーの根幹は、「社会貢献への道を模索する女性になること」です。卒業後も「光の子」として、自分と人とを大切にし、人々のために尽くしながら、人々と共に生きることのできる女性になることをめざします。そのために、本校の「知・徳・体」を次のように掲げます。

聖霊における 知	聖霊における 徳	聖霊における 体
知性（智慧）ある女性。	心の指針をもって生きることのできる女性。	身体を用いて情操を養い、深い思考のできる女性。

進路指導の取り組み

社会の中で「自分はどう生きるのか」について考えさせるとともに、「人はどのように生きるべきか」についても考えさせながら、理想の自分を築けるように支援し続けます。

15歳のハローワーク(中3)・インターンシップ（高1・高2）

中3を対象とした「15歳のハローワーク」は、社会のさまざまな分野で活躍する卒業生から仕事に関する話を聞き、キャリアイメージを描きます。また、高1・高2の希望者が市役所、販売店、飲食店などでのインターンシップに参加します。商品開発やイベントの企画などを成功させるために、主体的に課題を解決する中で、仕事を通しての社会貢献を体験します。



卒業生による合格体験報告会

大学受験を終えたばかりの高校３年生が、高校１・２年生に向けて、大学に合格するまでの過程を報告します。学習方法や入試対策にとどまらず、時間の使い方や仲間との関わり方、気持ちのコントロールの仕方まで、リアルな体験が語られます。こうした身近な先輩のメッセージは後輩たちにとって大きな刺激と励み、進路設計の一助となります。この発表会でしばしば聞かれる「聖霊の受験は団体戦」という言葉は、本校の進路指導のあり方を象徴しています。



進学補習、小論文・面接・プレゼンテーション指導

本校生徒たちは、各々の特長にあった入試区分を利用して、国公立大学や難関私立大学をはじめとした大学に進学しています。有料の映像コンテンツを用いたWEB学習を導入し、授業後や長期休暇には進学補習を実施しています。また、多様化する入試の対策として、志望理由書・活動報告書の添削指導や小論文・面接・プレゼンテーション指導を個別に徹底して行っています。



卒業生の進路実績

過去3年間の主な合格状況（累計）

国公立大学

名古屋大学(１名)
帯広畜産大学(１名)
千葉大学(２名)
金沢大学(１名)
岐阜大学(３名)
愛知教育大学(３名)
名古屋工業大学(１名)
奈良女子大学(１名)
広島大学(１名)
札幌医科大学(１名)
長野県看護大学(１名)
静岡県立大学(２名)
静岡文化芸術大学(１名)
愛知県立大学(２名)
愛知県立芸術大学(３名)
長岡造形大学(１名)
富山県立大学(１名)
金沢美術工芸大学(１名)

カトリック系大学

南山大学(134名)
上智大学(42名)
聖心女子大学(10名)
白百合女子大学(３名)
清泉女子大学(１名)
京都ノートルダム女子大学(２名)

主な私立大学

慶應義塾大学(１名)
早稲田大学(１名)
立教大学(３名)
学習院大学(１名)
津田塾大学(３名)
麻布大学(１名)
多摩美術大学(２名)
日本大学(２名)
フェリス女学院大学(19名)
愛知大学(７名)
愛知医科大学(２名)
愛知淑徳大学(77名)
金城学院大学(130名)
椙山女学園大学(57名)
中京大学(58名)
名古屋外国語大学(21名)
名古屋学芸大学(11名)
日本赤十字豊田看護大学(３名)
藤田医科大学(13名)
名城大学(23名)
同志社大学(19名)
立命館大学(24名)
関西学院大学(６名)
同志社女子大学(14名)
京都産業大学(８名)
近畿大学(23名)
龍谷大学(14名)
京都女子大学(５名)
大阪医科薬科大学(１名)
立命館アジア太平洋大学(５名)

合格者からのメッセージ

岐阜大学 医学部 看護学科 入学



市原 百恵さん
2025年3月卒業

多くの支えによって、努力し続けることができました。

聖霊での６年間をとおして、私は自分の考えや目標を貫くことができるようになりました。それは勉学だけでなく、部活動や委員会、ボランティア活動など、多様な活動に挑戦することを尊重し、励ましてもらえる環境で学ぶことができたからです。掲げる目標は異なっても、前向きに挑戦し続ける仲間の存在にも刺激されました。

さまざまなことに挑戦する中で、何度か挫折も経験しました。特に自分の特性や将来像と向き合いながら受験勉強を続けた時期は不安でした。しかし、進路決定から受験対策までを手厚くサポートしてくださった先生方や先輩たち、悩みを共有し励まし合った仲間のおかげで最後まで諦めずにやり遂げることができました。

改めて聖霊で過ごした日々をふり返ると、私は多くの人々の支えがあったからこそ、努力し続けることができたのだと強く感じます。今後も人とのつながりを重んじ、まわりの人のために考え、行動できるように成長していきたいです。

上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 入学

自分の可能性が広がりました。

聖霊での学校生活をとおして、自分の可能性を広げる大切さを学びました。特に、６年間所属したDAC部の活動からこんなにも影響を受けるとは思っていませんでした。

中学１年生のとき、初めて街頭募金や文化祭でのフェアトレード販売を経験し、自分の無力さに戸惑ったことは今でも覚えています。活動を続けていくうちに、私にもできることがあるならば行動に移したいと思うようになり、高校１年生のときにNPO法人ICANの事務所へ伺いました。新しいコミュニティに飛び込むことに不安もありましたが、挑戦し続けている仲間の姿に刺激を受けたことが、原動力となりました。

思えば困難にぶつかったとき、そばには必ず助けてくれる仲間がいました。また、私の悩みを自分のことのように考えてくださる先生方がいなければ、自分の可能性を広げることはできなかったと思います。これからも聖霊での思い出を糧として、新しいことにチャレンジしていきたいです。



倉地 愛さん
2025年3月卒業

同志社大学 神学部 神学科 入学



菱田 桃花さん
2025年3月卒業

聖霊での出会いが、私を大きく成長させました。

聖霊高校に入学してからの私は、これまでの消極的な性格とは大きく変わり、リーダーや生徒会活動に挑戦するなど、積極的に行動できるようになりました。親身に寄り添ってくださった先生方、自信のなかった私を励ましてくれた同級生たち、頼れる先輩方との出会いが新たなきっかけを与え、背中を押してくれたからだと思っています。

大学受験の際は、たくさんの先生方や友人が心の支えとなりました。志望校に迷っていた私に、同志社大学を紹介してくださった先生、納得のいく志望理由書や小論文が書けずに悩んでいた私に夜遅くまで相談にのってくださった先生方、そしてどんなときもそばにいてくれた友人の存在があったから、私は希望の大学に進学することができました。

聖霊高校に入学したから今の私がいると胸を張って言えるほど、私は聖霊高校に入学してよかったと思っています。これからもたくさんのことに挑戦し続け、さらに自分を成長させていきたいです。

関西学院大学 社会学部 社会学科 入学

自分らしくいられる聖霊で、多くのことを学びました。

聖霊での日々をふり返ると、すべてが大切な思い出だと感じます。個性豊かで思いやりのあふれる仲間たちと学んだ６年間は、私の宝物となりました。高校では、ボランティア活動やインターンシップなど、自分の可能性を広げる機会をとおして成長することができました。先生方からサポートを受けながら学びを深めた探究活動は、進路決定にも活かされました。大学受験は辛いこともありましたが、同じ悩みを共有できる仲間や、生徒を最優先して向き合ってくださる先生方に支えられて乗り越えることができました。

そして、聖霊は私が自分らしくいられる場所でした。仲間と笑い合い、高め合いながら、ありのままの自分でいられました。私たちの良いところを見つけて伸ばしてくださる先生方と、互いの違いを尊重し、それぞれの目標に向かって切磋琢磨した仲間のおかげで今の自分がいます。６年間で得た学びを忘れず、これからの道でも前向きに努力し続けたいと思います。



野村 真生さん
2025年3月卒業

交通アクセスのご案内
Access



27台のスクールバスで 11系統122箇所のバス停とキャンパスが直結!

本校へは公共交通機関の他、
11系統のスクールバスを利用して通学することができます。



スクールバス路線名

- 上社線
- 藤が丘線
- 植田線（梅森石神経由・赤池経由）
- 守山瀬戸線
- 竹越線
- みどり線
- 日進線
- 豊田線（四郷経由・三好丘経由）
- 藤岡線
- 多治見線
- 山口線



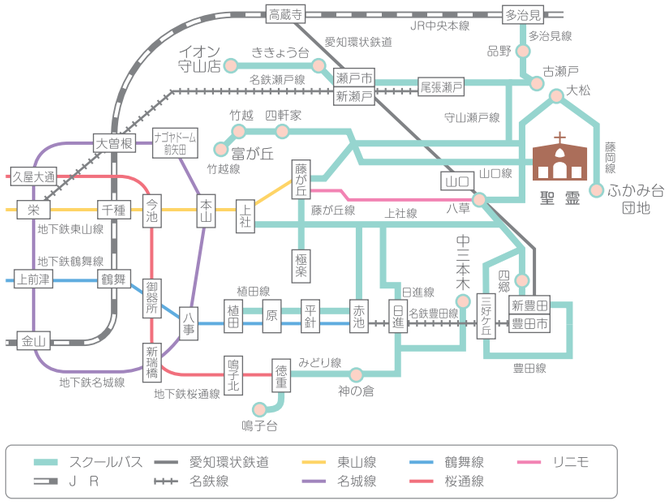
スクールバスの路線図と会費・時刻表はこちらからご確認ください

アクセス方法

名鉄瀬戸線をご利用の場合
「新瀬戸駅」「尾張瀬戸駅」よりスクールバス

愛知環状鉄道をご利用の場合
「山口駅」より徒歩約15分(スクールバスも利用できます。)

自動車をご利用の場合
〈名古屋方面から〉
星ヶ丘を経て、力石名古屋線を
「八草IC」で降りて信号を左折
国号155号線を瀬戸方向へ3.5km
信号交差点「せいれい町西」を右折
〈多治見方面から〉
瀬戸記念橋を経て、国道155号線を豊田方向へ2.7km
信号交差点「せいれい町西」を左折



制服紹介
School uniform

Message



高校1年
坪井 麗奈さん

制服に込められた想いを受け取っています。

聖霊の制服を着ることは、私にとって大きな誇りです。学校の伝統や精神を象徴するデザインであり、この制服を身にまとうことができる喜びを感じています。
白いブラウスに紺のジャンパースカート、赤いリボンとベレー帽など、つくられた当初から変わることのないデザインには、シスターたちの想いが込められています。その重みを強く感じながら制服を着ることで、聖霊の一員であるという自覚をもつことができています。これからも制服を美しく着こなして、後輩たちへと繋いでいきたいです。



冬服（中学・高校）



夏服　準制服　サマーカーディガン　カーディガン　コート



中学 ベレー帽　高校 ベレー帽　中学 リボン　高校 リボン

創立者
聖アーノルド・ヤンセン
神言会 聖霊会
南山学園

聖霊中学・高等学校は 南山学園の一員です



南山
高等学校・中学校
男子部



南山
高等学校・中学校
女子部



聖霊
高等学校・中学校



聖園女学院
高等学校・中学校



南山大学
附属小学校



聖園女学院附属
聖園マリア幼稚園



聖園女学院附属
聖園幼稚園

「個の力を、世界の力に。」
南山大学



カトリックの修道会である神言会により1949年に設立された大学です。「人間の尊厳のために」という教育モットーは、大学がその設立以来掲げてきました。人文学部、外国語学部、経済学部、経営学部、法学部、総合政策学部、理工学部、国際教養学部の8学部を擁し、国際的な視野をもつ人材の養成をめざした総合大学です。学園内の中学・高等学校には南山大学への推薦制度があります。